

## 皆さまのご支援に感謝し、未来への一步を踏み出す年に

サンフーズジャパンに関わるすべての皆さまへ。平素より格別のご支援、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。第42期のスタートにあたり、私たちの歩みとこれからの方向性をお伝えいたします。

### 1. 皆さまへの感謝を刻み、新しい期に挑む

第41期、私たちはおかげさまで、お客様からいただいたご要望に対し、誠意をもって取り組み、目標を達成することができました。

特に下半期は新たな取り組みによる想像以上の繁忙に直面することになりましたが、パートナー企業の皆さまのご協力、従業員一人ひとりの粘り強い努力により、それをクリアし、ビジョン実現に向けた第一歩を踏み出す大きな節目の年とすることができました。

この成果は、ひとえにサンフーズジャパンを支えてくださるすべてのステークホルダーの皆さまのお力添えがあってこそ成し得たものです。改めて深く感謝申し上げます。

### 2. 育ち始めた新しい世代の力

42期も3名の新入社員が仲間に加わりました。41期も3名、40期も2名が入社し、今も各部署で活躍しています。3年連続で新しい仲間が加わり、着実に成長していることは、サンフーズジャパンに新しい世代が根つき始めている証です。

さらに、中途入社の方々もこれまでの経験を活かし、短期間でリーダーとして活躍するなど、会社の成長を力強く支えてくれています。

若い力、新しい力、そしてそれを支えるすべての従業員の存在は、弊社の未来にとってかけがえのない財産です。

### 3. 変化の時代に、未来をつくる基盤を整える

創業から40年近くが経ち、昭和・平成・令和と時代は大きく変わりました。働き方も価値観も多様化し、「努力と根性」だけでは乗り越えられない時代になっています。加えて、当社はこの10年で大きく成長し、もはや“気合い”だけで対応できる規模ではなくなりました。

だからこそ、第42期は「仕組みを変える一年」と位置づけています。

具体的には

- リーダー・ネクストリーダーへの教育の継続
- 主任・係長層の交流強化による改善スピードの向上
- 社内外コミュニケーション活性化を図るプロジェクトの推進と拡充
- DXプロジェクトの製造・開発部門への本格実装
- 社長面談の継続実施 など

これらの取り組みを通じて、組織の基盤をより強く、よりしなやかに整えてまいります。

### 4. 第42期の指針「相手は鏡」

今年度の指針として「相手は鏡」を掲げました。

人は他者の姿を通して、自分の行動や言動を見つめ直すことができます。

良いなと思えば、真似ればよいのですし、ここはちょっと・・・と思えば、

自分は人にそういう思いをさせていないかを反省し、改善すれば良い。

プラスも、マイナスもすべてが成長のチャンスにできたら素晴らしいと私は思います。

従業員一人一人が、互いを尊重し、学び合い、補い合い、高め合う。その積み重ねが、組織の生産性を高め、豊かさを生み出す原動力になると信じています。

今期はこの指針が従業員の取り組みの基盤になる事を願っています。

### 5. ビジョン達成に向けた“変革の年”

現在、サンフーズジャパンは従業員が持てる力を最大限に発揮している状態です。しかし、このまま全力疾走を続けるだけでは、持続的な成長は望めません。

だからこそ、ここからは“仕組みそのもの”を変えていきます。

2030年に向けて全社で掲げたビジョンを、すべてのステークホルダーの皆さまと共に本気で達成したいと私たちは考えています。これからもビジョン達成を信じて取り組んで参ります。

同時に、従業員が安心して力を発揮できる環境づくりにも、これまで以上に真剣に取り組みます。

第42期は、サンフーズジャパンが未来へ踏み出す「変革の年」です。新しい仲間と共に、そしてこれまで支えてくださったすべての皆さまと共に、力強く歩みを進めてまいります。

本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和8年4月1日

吉田武史